

「総合実技」採点概要

2級の「総合実技テスト」は、準2級までのような単体別のアプリケーションソフトを指定した通りに操作できるかを問うものとは異なり、ワープロや表計算ソフトを駆使し、与えられた課題(ビジネスシーンで要求される成果物)を作成する総合的なテストです。

採点は、以下の3つの観点で判定されますが、特に配点が一番大きいのが「観点3/ビジュアル」で、いかにビジネス現場で適用する見栄えや見やすさを表現できるかがポイントとなります。

この「観点3」のフォントや色の使い方等については、指定以外は自由で、むしろ優れた工夫が見られるかを評価いたします。(完成イメージや対策テキストの見本通りにする必要はありません)

<観点1/配点20点>指示の理解と把握

与えられた課題や指示された業務を、正しく理解・把握しているかを判定します。

表計算ソフト
シート名、ファイル名、保存形式(注意:表計算ソフトの形式で保存されているか)、その他、指示通りであるか
誤字・脱字はないか
ワープロソフト
発信日付、宛先、発信者、ヘッダー、フッター、ファイル名、保存形式(注意:ワープロソフトの形式で保存されているか)、その他、指示通りであるか
誤字・脱字はないか

<観点2/配点30点>適切な操作

「アプリケーションの操作」が適切に操作されたかを判定します。

表計算ソフト
計算式、関数、罫線、グラフ、その他、適切に操作できているか
ワープロソフト
表計算ソフトで作成された表やグラフなどが適切に貼り付けられているか データの分析が正しく記述されているか

<観点3/配点50点>ビジュアル(見栄え)・成果物の見やすさ

社外に提出しても良いレベルのビジュアルであるかを判定します。

表計算ソフト
フォントサイズ、列幅、位置揃え、表示形式、桁区切り、項目行、罫線、グラフタイトル、凡例、数値軸ラベルなどが適切で見やすいか
ワープロソフト
タイトルが分かりやすく表示されているか、発信日付・宛先・発信者などの配置が適切か、「以上」は右寄せになっているか、字下げが設定されているか、文字が隠れていないか、その他見やすくなっているか
A4一枚に収まっているか、印刷範囲からはみ出していないか、不要なものはないか
色使い、貼り付け物の大きさと縦横比と見やすさ、フォントサイズ、余白、行間、位置揃え、レイアウトの天地バランスなどは適切で見やすいか
応用力加点項目
色の使い方、表を見やすくする工夫、グラフの理解を助ける工夫、フォントの使い方やテキストデータの配置などについて優れた工夫が見られるか

* 記載されている採点基準は、代表的な一例です。